



2020年1月10日

各 位

会社名	株式会社フィードフォース
代表者名	代表取締役社長 塚田 耕司 (コード番号：7068 東証マザーズ)
問合せ先	取締役経営管理本部長 西山 真吾 (TEL. 03-5846-7016)

## 子会社の異動を伴う株式取得（アナグラム株式会社の連結子会社化）に関するお知らせ

当社は、2020年1月10日開催の取締役会において、下記のとおり、アナグラム株式会社（以下、「アナグラム」）の株式を取得し、同社を連結子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式取得の理由

当社は『働く』を豊かにする。～B2B 領域でイノベーションを起こし続ける～というミッションを掲げ、企業の生産性を向上させるサービス・プロダクトづくりを通じて豊かな働き方を実現するべく事業活動を行っております。企業のデジタルマーケティング支援をビジネスの軸に、顧客属性に応じたサービスの提供方法により、プロフェッショナルサービス事業と SaaS 事業の2つの事業セグメントで構成されております。

プロフェッショナルサービス事業では、主としてエンタープライズを中心とした顧客に対して、個々のニーズに応じたデータフィードの構築やプラットフォームへの広告配信受託を行っており、SaaS 事業では、SaaS 型でのデータフィード統合管理ツール、自動広告出稿ツール及びウェブサイト等へのソーシャルアカウントを活用したログインサービスを提供しております。

一方、アナグラムは、「マーケティングを通してより豊かな未来を創造する---幸せな出会いがより豊かな未来を創る---」という企業理念のもとインターネット広告運用代行事業を展開し、企業のマーケティング支援を行っております。

当社は、2019年7月に東証マザーズに上場しました。当初は、上場に伴う新株発行で得られた資金により現行サービスの拡充及び新規事業展開を図っていく方針でした。一方、インターネット広告市場は近年も着実に成長が継続しているものの、通信環境やテクノロジーの発展に伴い、提供される広告形式も多様化・高度化しており、これに対応するための高度な専門性や知見が一層求められる状況となっております。このような状況のもと、当社上場後にアナグラムより経営統合に関する打診があり、本日に至るまで両社でディスカッションを重ねた結果、両社が蓄積してきた専門性や知見を踏まえて既存のサービスにとどまらず、テクノロジーを活用したより高度なマーケティング支援体制を共同で開発・構築することにより、当社プロフェッショナルサービス事業におけるサービス領域の持続的な成長及び新たな展開が期待できると判断し、本株式取得を実施する判断に至りました。

当社とアナグラムにおけるインターネット広告運用代理事業における違いとしては、当社では企業が保有する多種多様な商品・案件等のデータベースの中から検索ワードやユーザー属性に最適化した個別の商品・案件画像を掲載する「データフィード広告」といわれる形式を主に取り扱っている一方で、アナグラムでは検索ワードに最適化したテキストを検索結果画面に掲載する「リスティング広告」という形式を主に取り扱っている点にあります。

本株式取得は、当社が培ってきたデータフィード広告とアナグラムが培ってきたリスティング広告などそれぞれの得意領域におけるノウハウを通じて、インターネット広告運用代行事業において「データフィード広告」や「リスティング広告」など総合的なソリューションをワンストップで提供することにより、両社の顧客基盤の拡大をさらに図っていく予定です。

なお、本株式取得により当社はアナグラム株式の 50.1%を取得し、アナグラムは当社の連結子会社となりますが、将来的な株式交換による完全子会社化等に向けた検討も今後行っていく予定です。

## 2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	アナグラム株式会社		
(2) 所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目4番4号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 阿部 圭司		
(4) 事業内容	コンサルティング事業、広告運用代理事業、マーケティング支援事業		
(5) 資本金	10,000 千円		
(6) 設立年月日	2010年4月28日		
(7) 大株主及び持株比率	阿部 圭司 95%、岡田 吉弘 5%		
(8) 当社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はございません。	
	人的関係	当社取締役（監査等委員）の岡田吉弘がアナグラムの監査役に就いております。	
	取引関係	該当事項はございません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はございません。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状況（※1）			
決算期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
純資産	264百万円	416百万円	628百万円
総資産	750百万円	1,173百万円	1,942百万円
1株当たり純資産	264,126円46銭	416,590円73銭	628,646円42銭
売上高（※2）	1,987百万円	2,970百万円	4,524百万円
営業利益	93百万円	208百万円	285百万円
経常利益	97百万円	226百万円	309百万円
当期純利益	72百万円	152百万円	212百万円
1株当たり当期純利益	72,406円42銭	152,464円27銭	212,055円68銭
1株当たり配当金	0円00銭	0円00銭	0円00銭

※1 経営成績及び財政状況は、監査法人の監査対象外であります。

※2 当該会社の売上高は、顧客からの対価相当額である媒体への広告費を含めた総額で計上している一方で、当社の売上高は、運用手数料相当額のみで純額で計上しており、当該会社売上高を当社の会計方針に変更した場合の金額はそれぞれ以下のとおりとなります。

2017年3月期：376百万円、 2018年3月期：608百万円、 2019年3月期：836百万円

## 3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	阿部 圭司
(2) 住所	東京都世田谷区
(3) 上場会社と当該個人の関係	
資本関係	該当事項はございません。
人的関係	該当事項はございません。
取引関係	該当事項はございません。

## 4. 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0.00%)
(2) 取得株式数	501株 (議決権の数：501個)
(3) 取得価額	アナグラム株式会社の普通株式購入代価 1,252百万円（※） アドバイザリー費用（概算額） 7百万円 合計（概算額） 1,259百万円
(4) 異動後の所有株式数	501株 (議決権の数：501個) (議決権所有割合：50.10%)

※ 本件における株式取得価額の算定に当たっては、当該会社の第三者機関によるデューデリジェンス及びDCF法及び類似会社比較法による株式価値算定を行っており、価格の妥当性を検証するための十分な手続きを実施しております。

## 5. 日 程

(1) 取締役会決議日	2020年1月10日
(2) 契約締結日	2020年1月10日
(3) 株式譲渡実行日	2020年1月24日(予定)

## 6. 今後の見通し

当社は、アナグラムの連結子会社化に伴い2020年5月期第3四半期より連結決算に移行いたします。2020年5月期の連結業績予想は現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

(参考) 当期業績予想(2019年7月12日公表分)及び前期実績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (2020年5月期)	989百万円	235百万円	232百万円	161百万円
前期実績 (2019年5月期)	700百万円	45百万円	34百万円	43百万円

以 上